

事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和5年2月24日

事業所名： ひかりスター

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目 標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1			室内外ともに十分なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7				子どもの送迎や下校後は常勤、非常勤を合わせ職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			和歌山県の福祉のまちづくり条例に従って、バリアフリー、多目的トイレ、外には車いす専用インターフォン、点字ブロック、スロープ、手摺り等を設けている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	1		PDCA7サイクルは進めているが、今後さらに充実していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	2	・保護者の面談を通じて理解に努める	今年度が初めての評価アンケートだった。結果を全職員と共有し、今後の改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	2	・公開予定	公開予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1		今後の予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・時間の許す限り会議を実施している（月曜日）	週一回の会議（ミーティング）を実施し、様々な研修や意見交換を行っていく。外部講師による研修会もさらに充実していく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・会議等で情報をもらっている	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2			立案は担当職員が予め立て、それを会議で話し合い、決定している。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	1		子どもたちに様々な体験を重ねていくために、季節行事に合わせた制作や、利用人数、時間によって色々な所への外出等子どもたちが楽しめる工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1			それぞれに合わせ、日課の中に盛り込んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	1		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	1		各職員の情報をもとに利用児の様子等を伝え合い、送迎の配車等確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2			支援終了時に全職員が参加することは難しく、その都度個別に伝えると共に、職員間で共有できる連絡ノートを作っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		・毎日終了前にその日の記録を記入している	記録は毎日実施。記入内容についての改善の意見もある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2			
関係機関や保護者	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	3			放課後等デイサービスのガイドラインについて会議で取り上げ、さらに検討していく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				各学校の下校時間に合わせてお迎えを行っている。諸事情で10分以上遅れる時は、学校へ連絡することを職員間で共有している。それ以外に利用児のことで情報を共有しなければならないことは、保護者の承諾を得て個人情報に配慮しながら連携を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	1	・現在受け入れていない	現在受け入れていない。

との連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・のぞみスターとの連携がある	児童発達支援を利用していた子どもについては、事前に情報提供の場を設け、継続的な支援に繋げている。また相談支援事業所からの詳しい情報を得ている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	・現在卒業生なし ・まだ卒業生はいないが資料の確保はできている	
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・管理者が中心となっている	
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5		コロナ禍の中で交流はできるだけ控えている。
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	3			開催があれば出席している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・連絡帳を活用して行っている	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		・学校の情報と専門機関との中継を行って適切な指導に努めている	
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			契約時、重要事項の中で説明をしている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	3	・管理者から会議等では話を聞ける	現在、父母の会等の運営は行っていない。今後、保護者の意向確認をしながら必要に応じて進めていく。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・管理者、代表が先頭に立って実施している	
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2			
	㉜	個人情報に十分注意しているか	7			・公私の中でも注意している	
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・会議内で共通情報をもらっている	毎月、利用予定表を配布。その中に活動等を簡単に記入している。重要な伝達は、一斉メールを通して職員、保護者に配信している。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	1	4	2	・コロナ感染予防のため 現在中止	昨年はコロナ感染拡大に配慮が必要だったため、行事の中止や縮小、人との交流を控えた。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・職員、児童等で協力して避難訓練を実施	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	1	・2/3実施予定	虐待防止研修は、外部講師を招き、実施。(R5.2.3)
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3			契約時に重要事項の中で説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	1	・現在食物アレルギーの児童はいない	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2			ヒヤリハットは当事者が記入し、いつでも職員が見られる場所に保管している。